

前奏 黙想	祈 禱
讚美歌 66 聖なる、聖なる、聖なるかな	讚美歌 324 主イエスはすくい
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条	讚 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 詩編 36:10	黙 禱
コリントの信徒への手紙二 4:10~11	主の祈り 564
讚美歌 225 すべてのひとに	讚 詠 545 父のみかみに
説 教 『イエスの死、イエスの命』	祝 禱 後 奏

「わたしたちは、いつもイエスの死を体にまとっている。イエスの命がこの体に現れるために。わたしたちは生きている間、絶えずイエスのために死にさらされている。死ぬはずのこの身にイエスの命が現れるために(Ⅱコリ4:10~11)」。「死を体にまとっている、命が現れるために」。「死ぬはずのこの身に、イエスの命が現れる」。イエスの死は、私たちにとってイエスの命だと言う。過去に起こった十字架というより、「十字架への道を歩まれて死んだイエス」が、今「この体、この身」に現れている。

ややこしい言葉遣い、意味が混線してショートするかもしれない。だけれどもこの感じ、十字架を見つめているとうっすら分かって来る。「わたしたちは、十字架につけられたキリストを宣べ伝えている(Ⅰコリ1:23)」。「十字架につけられたキリスト以外、何も知るまいと心に決めていたから(2:2)」。くどい日本語になるが、時制に厳格な原典の「現在完了形」通りに述べるなら「十字架につけられたままのキリスト」。あの時の十字架の死を、今なお私たちはここでまとい、それが日々響いている。

十字架である「イエスの死」は、過去の静的なものではなく、私たちにおいて変容し続ける現在完了形。それも一人ひとりの場で、具体的に。「イエスの命がこの体に現れるために」。イエスの死はあの時に消滅したのではない。死は十字架によって飛散し、その死を「体にまとう(Ⅱコリ4:10)」一人ひとりの状況においてイエスの命が現れる。何しろ私たちがキリスト者として生きていることが、イエスの命の現れそのものではないか。弱く罪人でもある私のこの体に「イエスの命」が現れている。よく知られた比喻の通りに、「わたしたちは、このような宝を土の器に納めている(4:7)」のだ。

東南アジアの仏教国では、胸の前で合掌して挨拶しあう。この作法は相手に内在している「仏」を崇敬する身ぶり。私たちも個別の人間性と関係なく、「イエスの死をまとっている」者同士として尊敬し合いたい。16世紀の宗教改革は初代教会回帰への傾きがあり、聖像や聖画など偶像化しやすい物をの人為として排除する。だから私たちは、かの仏教国のように、人間がまとっている「イエスの死」を崇敬し合えばいい。その自覚がない者にも、私たちは自覚をもってすべての人に接したい。とはいえ人間は「イエスの死をまとっている」とは到底思えない悪魔になることもある。そこは律法のように神経症的に考えず保留にしておけばいい。少なくとも教会を形成する私たちは、「イエスの死」によって結びつき、「イエスの命」が現れる有機的な身体になっている。八ヶ岳教会という形で。

「わたしたちは生きている間、絶えずイエスのために死にさらされている。死ぬはずのこの身にイエスの命が現れるために(4:11)」。「必ず死ぬこの身に「イエスの命」が現れてどうなるのか。永遠の命を保証する「贖宥状(免罪符)」でも得られるのか。問いに踏み入り、慎重に、厳しく、聖書に聞こう。

十字架のイエスは大声で叫び、死んだ。「わが神、わが神、なぜわたしを見捨てるのか(マルコ15:34)」。「復活するため」に死んだのではない。御心に従い続けた結果、十字架で「不本意に」死んだのだ。復活は神の「然り」だが、イエスの悲惨な絶望までも丸抱えしての然り。そんなイエスの死と命を私たちは丸ごとまとう(Ⅱコリ4:10)。私たちは挫折し絶望する。激しい変化はないにしても必ず死ぬ。絶望で生きても死んでも、「いつもイエスの死、イエスの命」をまとして、神の「然り」を受けている。

命の泉はあなたにあり あなたの光にわたしは光を見る(詩編 36:10) なんと近い神との二人称  
キリストはより近く密接 私たちの死と闇にも共におられる 一人称複数としてか単数としてか  
本日礼拝後に役員会。またカレーの日です。どなたでも遠慮なくお召し上がりください。教会カフェ 9/4(水)1:00~3:00。牧師の動き:9/2 東海教区の協議会で伝道報告。9/6 YMCA で聖書のおはなし。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。